

病虫害防除基準

病虫害名	防除時期	薬剤名	使用濃度	散布量 /10a	使用回数	注意事項
白さび病	発病初期	エムダ [®] イファー水	400倍 ～650倍	—	8回	同一系統の薬剤は連用しない。
	—	ジマンダ [®] イセフロアブル	500倍 ～800倍	150～ 300 ^{リットル}	8回	
	—	サフ [®] ロール乳	1000倍 ～1500倍	—	5回	
	発病初期	ラリ [®] 乳	3000倍	200～ 300 ^{リットル}	5回	
フル [®] 乳		3000倍	100～ 300 ^{リットル}	3回		
黒さび病	発病初期	マネ [®] ジ [®] 乳	500倍 ～1000倍	200～ 300 ^{リットル}	6回	山間部では特に注意。 ヨモギなどのキク科 雑草も感染源となる。
黒斑病褐斑病	—	ダ [®] ユニール1000	1000倍	—	6回	
灰色かび病	—	ホ [®] リハ [®] リン水	1000倍	—	5回	過湿を避ける。
ハモク [®] リハ [®] エ	定植時	アルバ [®] リン粒	2g/株	30 kg	1回	4月上旬～6月中旬に 重点防除する。
	発生初期	ベストガ [®] ート [®] 粒	2g/株	—	4回	
	—	カルホス [®] 乳	1000倍	—	4回	
		カスケ [®] ート [®] 乳	2000倍	100～	3回	
発生初期	オルトラン水	1000倍	300 ^{リットル}	5回		
オオタ [®] ハ [®] コガ [®]	発生初期	アファム [®] 乳	1000倍	100～ 300 ^{リットル}	5回	若齢幼虫までに防除 を徹底する。
		スピ [®] ノエス [®] 顆粒水	2500倍 ～5000倍		2回	
		ラービ [®] ンフロアブル	1000倍	—	6回	
ハダニ類	—	ニツラン水	2000倍 ～3000倍	—	2回	同じ薬剤を連用しない。 葉裏に薬液が十分か かるようにする。
		オサタ [®] ンフロアブル	2000倍	100～ 300 ^{リットル}	2回	
		テ [®] オン [®] 乳	500倍 ～1000倍	—	—	
	発生初期	ピラニカ EW	2000倍	150～ 300 ^{リットル}	1回	
	7～9月	マイトコ [®] ネフロアブル	1000倍	150～ 200 ^{リットル}	1回	

ハダニ類	発生初期	粘着くん液	100倍	100～ 300 ^{リットル}	6回	
アブラムシ類	定植時	アルバリン粒	2g/株	30kg	1回	同じ薬剤を連用しない。
	発生初期	ベストガード粒	2g/株	—	4回	
	—	スミチオン乳	1000倍 ～2000倍	—	6回	
	発生初期	アトマイヤーフロアブル	2000倍	100～ 200 ^{リットル}	5回	
アデント水		1000倍	150～ 300 ^{リットル}	5回		
アザミウマ類	発生初期 生育期	ハチハチ乳	1000倍	100～ 300 ^{リットル}	4回	夕方散布が効果大。
		ジェイエース水溶	1000倍 ～1500倍	—	5回	
		プリンスフロアブル	2000倍	100～ 300 ^{リットル}	5回	
ミカンキロアザミウマ	開花期	コテツフロアブル	2000倍	150～ 300 ^{リットル}	2回	